

令和元年度P R T Rデータ集計結果（宮城県の概要）正誤表 ※赤字部分を修正

正	誤																																																								
<p>3 ページ</p> <p>(2) 届出排出量及び届出移動量の概要</p> <p>事業所から届出のあった令和元年度の届出排出量の合計は 1,008 トンであり、全国の総量 140 千トンの 0.7% でした。また、届出移動量の合計は 758 トンであり、全国の総量の 244 千トンの 0.3% でした (表 3)。</p> <p>届出排出量・移動量の合計は 1,766 トンで、全国の総量 384 千トンの 0.5% であり、全国で 40 位となっています (表 3)。</p> <p>届出排出量 1,008 トン (総届出排出量・移動量の 57.1%) の内訳は、大気への排出が 819 トン (同 46.4%)、公共用水域への排出が 98 トン (同 5.5%)、事業所敷地内埋立が 91 トン (同 5.2%) でした (表 3, 図 2)。</p> <p>また、届出移動量 758 トン (総届出排出量・移動量の 42.9%) は、下水道への移動が 4.9 トン (同 0.3%)、廃棄物としての移動が 753 トン (同 42.6%) でした (表 3, 図 2)。</p> <p>6 ページ</p> <p>&lt;事業所敷地内への埋立処分&gt;</p> <p>事業所敷地内における埋立処分量 91 トンは、表 7 のとおりです。</p> <p>表 7 事業所内での埋立処分として届出された排出量</p> <table border="1" data-bbox="188 997 1068 1134"> <thead> <tr> <th rowspan="2">排出先 区分</th> <th colspan="2">対象化学物質</th> <th rowspan="2">主な用途</th> <th rowspan="2">届出排出量計 (kg/年)</th> <th rowspan="2">構成比</th> </tr> <tr> <th>物質番号</th> <th>物質名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">埋地事 立内棄 処分所 分の数</td> <td>304</td> <td>鉛</td> <td rowspan="2">バッテリーの原料など</td> <td>91.000</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>91.000</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他 (0.0kg/年未満の対象化学物質含む)</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">県全体の届出排出量合計</td> <td>91.000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	排出先 区分	対象化学物質		主な用途	届出排出量計 (kg/年)	構成比	物質番号	物質名	埋地事 立内棄 処分所 分の数	304	鉛	バッテリーの原料など	91.000	100.0%	合計		91.000	100.0%	その他 (0.0kg/年未満の対象化学物質含む)		0	0.0%	県全体の届出排出量合計				91.000		<p>3 ページ</p> <p>(2) 届出排出量及び届出移動量の概要</p> <p>事業所から届出のあった令和元年度の届出排出量の合計は 1,008 トンであり、全国の総量 140 千トンの 0.7% でした。また、届出移動量の合計は 758 トンであり、全国の総量の 244 千トンの 0.3% でした (表 3)。</p> <p>届出排出量・移動量の合計は 1,766 トンで、全国の総量 384 千トンの 0.5% であり、全国で 40 位となっています (表 3)。</p> <p>届出排出量 1,008 トン (総届出排出量・移動量の 57.1%) の内訳は、大気への排出が 819 トン (同 46.4%)、公共用水域への排出が 98 トン (同 5.5%)、事業所敷地内埋立が 91 トン (同 5.2%) でした。</p> <p>また、届出移動量 758 トン (総届出排出量・移動量の 42.9%) は、下水道への移動が 4.9 トン (同 0.3%)、廃棄物としての移動が 753 トン (同 42.6%) でした (図 2)。</p> <p>6 ページ</p> <p>&lt;事業所敷地内への埋立処分&gt;</p> <p>事業所敷地内における埋立処分量 91 トンは、全て鉛です (表 7)。</p> <p>表 7 事業所内での埋立処分として届出された排出量</p> <table border="1" data-bbox="1211 997 2112 1141"> <thead> <tr> <th rowspan="2">排出先 区分</th> <th colspan="2">対象化学物質</th> <th rowspan="2">主な用途</th> <th rowspan="2">届出排出量計 (kg/年)</th> <th rowspan="2">構成比</th> </tr> <tr> <th>物質番号</th> <th>物質名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">埋地事 立内棄 処分所 分の数</td> <td>304</td> <td>鉛</td> <td rowspan="2">バッテリーの原料など</td> <td>91.000</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>91.000</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">県全体の届出排出量合計</td> <td>91.000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	排出先 区分	対象化学物質		主な用途	届出排出量計 (kg/年)	構成比	物質番号	物質名	埋地事 立内棄 処分所 分の数	304	鉛	バッテリーの原料など	91.000	100.0%	合計		91.000	100.0%	その他		0	0.0%	県全体の届出排出量合計				91.000	
排出先 区分		対象化学物質					主な用途	届出排出量計 (kg/年)		構成比																																															
	物質番号	物質名																																																							
埋地事 立内棄 処分所 分の数	304	鉛	バッテリーの原料など	91.000	100.0%																																																				
	合計			91.000	100.0%																																																				
	その他 (0.0kg/年未満の対象化学物質含む)		0	0.0%																																																					
県全体の届出排出量合計				91.000																																																					
排出先 区分	対象化学物質		主な用途	届出排出量計 (kg/年)	構成比																																																				
	物質番号	物質名																																																							
埋地事 立内棄 処分所 分の数	304	鉛	バッテリーの原料など	91.000	100.0%																																																				
	合計			91.000	100.0%																																																				
	その他		0	0.0%																																																					
県全体の届出排出量合計				91.000																																																					

16ページ

<届出移動量（下水道への移動）の多い上位5物質>

下水道への届出移動量の上位5物質は表18のとおりです。

上位5物質の中では、「2-アミノエタノール」及び「ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）」の届出移動量は前年度と比較し増加していますが、その他の物質は減少しています。

上位5物質の構成は前年度と同様です。

表18 届出移動量（下水道への移動）の多い上位5物質の推移

(単位：kg/年)						
R1年度 順位	第一種指定化学物質	H27	H28	H29	H30	R1
1	2-アミノエタノール	2,300	3,400	3,409	2,113	2,408
2	ニッケル化合物	53	164	124	1,690	1,379
3	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）	298	265	334	373	410
4	ふっ化水素及びその水溶性塩	10	371	448	470	400
5	ポリ（オキシエチレン）＝ノニルフェニルエーテル	22	24	44	115	90

17ページ

<届出移動量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5物質>

廃棄物として届出移動量の上位5物質は表19のとおりです。

上位5物質の中では、「トルエン」を除く全ての物質が前年度と比較し増加しています。

上位5物質の構成は前年度と同様です。

表19 届出移動量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5物質の推移

(単位：トン/年)						
R1年度 順位	第一種指定化学物質	H27	H28	H29	H30	R1
1	鉛化合物	206	259	205	186	200
2	マンガン及びその化合物	178	194	189	179	190
3	トルエン	150	152	170	163	105
4	亜鉛の水溶性化合物	43	42	41	41	41
5	銅水溶性塩（錯塩を除く。）	19	21	26	29	31

16ページ

<届出移動量（下水道への移動）の多い上位5物質>

下水道への届出移動量の上位5物質は表18のとおりです。

上位5物質の中では、「2-アミノエタノール」及び「ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）」の届出移動量は前年度と比較し増加していますが、その他の物質は減少しています。

上位5物質の構成は前年度と同様です。

表19 届出移動量（下水道への移動）の多い上位5物質の推移

(単位：kg/年)						
R1年度 順位	第一種指定化学物質	H27	H28	H29	H30	R1
1	2-アミノエタノール	2,300	3,400	3,409	2,113	2,408
2	ニッケル化合物	53	164	124	1,690	1,379
3	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）	298	265	334	373	410
4	ふっ化水素及びその水溶性塩	10	371	448	470	400
5	ポリ（オキシエチレン）＝ノニルフェニルエーテル	22	24	44	115	90

17ページ

<届出移動量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5物質>

廃棄物として届出移動量の上位5物質は表20のとおりです。

上位5物質の中では、「トルエン」を除く全ての物質が前年度と比較し増加しています。

上位5物質の構成は前年度と同様です。

表20 届出移動量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5物質の推移

(単位：トン/年)						
R1年度 順位	第一種指定化学物質	H27	H28	H29	H30	R1
1	鉛化合物	206	259	205	186	200
2	マンガン及びその化合物	178	194	189	179	190
3	トルエン	150	152	170	163	105
4	亜鉛の水溶性化合物	43	42	41	41	41
5	銅水溶性塩（錯塩を除く。）	19	21	26	29	31

令和元年度P R T Rデータ集計結果（市区町村の概要）正誤表 ※赤字部分を修正

正

1 ページ

表2 届出排出量の上位 10 市区町村

(単位：トン/年)

順位	総届出排出量		大気への排出量		水域への排出量	
	市区町村名	排出量計	市区町村名	排出量計	市区町村名	排出量計
1	黒川郡大衡村	200	黒川郡大衡村	200	大崎市	16
2	栗原市	138	仙台市宮城野区	90	多賀城市	16
3	仙台市宮城野区	104	白石市	82	仙台市宮城野区	15
4	白石市	82	加美郡加美町	74	岩沼市	14
5	加美郡加美町	74	塩竈市	52	加美郡色麻町	7
6	塩竈市	52	栗原市	42	栗原市	5
7	岩沼市	50	岩沼市	36	石巻市	4
8	大崎市	38	柴田郡柴田町	26	仙台市青葉区	4
9	石巻市	30	石巻市	25	黒川郡大和町	3
10	柴田郡柴田町	26	大崎市	22	仙台市太白区	3
	その他	215	その他	172	その他	9
	合計	1,008	合計	819	合計	98

誤

1 ページ

表2 届出排出量の上位 10 市区町村

(単位：トン/年)

順位	総届出排出量		大気への排出量		水域への排出量	
	市区町村名	排出量計	市区町村名	排出量計	市区町村名	排出量計
1	黒川郡大衡村	200	黒川郡大衡村	200	大崎市	16
2	栗原市	138	仙台市宮城野区	90	多賀城市	16
3	仙台市宮城野区	104	白石市	82	仙台市宮城野区	15
4	白石市	82	加美郡加美町	74	岩沼市	14
5	加美郡加美町	74	塩竈市	52	加美郡色麻町	7
6	塩竈市	52	栗原市	42	栗原市	5
7	岩沼市	50	岩沼市	36	石巻市	4
8	大崎市	38	柴田郡柴田町	26	仙台市青葉区	4
9	石巻市	30	石巻市	25	黒川郡大和町	3
10	柴田郡柴田町	26	大崎市	22	仙台市太白区	3
	その他	215	その他	172	その他	9
	合計	1,008	合計	819	合計	98

備考：土壌への排出量はなし、埋立処分の排出量は栗原市の91トン/年のみ。